

大阪府社会保険労務士会
大阪中央支部

第3回 研究発表会

【と き】 / 平成26年4月19日(土) 13時～

【場 所】 / シティプラザ大阪 4階 眺

【統一論題】 / 「人を活かすために、社労士ができること」

本年も、支部総会開催前の時間を利用して研究発表会を開催いたします。

支部会員である社労士3名が、様々な立場で日々感じ、行動している事例を通し、問題提起します。自分たちの仕事を振り返ってみる貴重な時間を皆様と共有したいと思います。



テーマ 1

『労使が対立しない組織づくりへの取り組み』

～西洋型組織論から東洋型への転換～

発表者：日比野 大輔（労務管理事務所フォージョウハーフ）



◆発表概要

労使の利益がいろいろな場面で対立し、労使紛争が激増するこの頃。労使ともに、猜疑心から相互の関係性を悪化させていく。

こんなことをしていていいのだろうか？近視眼的な対処療法で問題社員の対応、行政官庁の対応をすればかりいて良いのだろうか？

そんな気付きから、私自身の理念を一変させ、業務方針を転換し、手探りで業務を進めた。その結果、幾度も涙を流すような感動的な光景が生まれた。

西洋的なマネジメントから東洋哲学による人格的共同体の創成へ舵を切った概要とその顛末を発表する。

1. 社労士が会社を悪くしていた?!
2. 経営者の考え方が労使の利益を対立させる?!
3. 幸せな労使の笑顔が全国、世界へ広がっていく。